

新刊書案内



www.nankodo.co.jp

統計入門の名著が待望の改訂！



初心者でもすぐにできる フリー統計ソフト EZR (Easy R) で 誰でも簡単統計解析

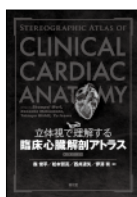
著 神田善伸

改訂第 2 版

B5 判・240 頁 2024.10.
ISBN978-4-524-21861-5
定価 **4,620 円** (本体 4,200 円＋税 10%)

フリー統計ソフト「EZ R」(Easy R) を使って統計解析を始める時に読む“最初の一冊”。インストールから解析機能の使い方、論文作成・学会発表での応用まで、使用シーンごとに実際の画面を見ながら開発者自身がわかりやすく解説。EZ R の最新アップデートに対応し、グラフ作成機能などの解説を改訂。統計解析ソフトを使いたい、最初の一歩におすすめの一冊。

200 枚を超える圧巻の三次元画像を収載！



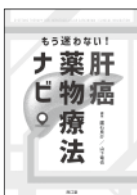
立体視で理解する 臨床心臓解剖アトラス [3D メガネ付録つき]

著 森 俊平／松本賢亮／
西井達矢／伊澤 有

B5 判・304 頁 2024.10.
ISBN978-4-524-20486-1
定価 **24,200 円** (本体 22,000 円＋税 10%)

実心臓から得られたデータを用いて再構成された三次元画像のため、通常は把握できない“展開も変形もしていない状態の心臓”について、3D メガネを通して奥行きを知覚しながら理解ができる。心エコー図や冠動脈造影といった心臓画像検査との対比を含めた正常の心臓解剖から、弁膜症・構造的な疾患、先天性心疾患といった病態における構造・形態まで学べる一冊。

肝癌治療に携わる臨床医へ最新の知見を示す



もう迷わない！ 肝癌薬物療法ナビ

編 建石良介／山下竜也

B5 判・190 頁 2024.6.
ISBN978-4-524-23463-9
定価 **5,830 円** (本体 5,300 円＋税 10%)

近年、新たな分子標的治療薬の承認が相次ぎ、大きな進歩を見せている肝癌（肝細胞癌）の薬物療法について、一次治療／二次治療以降における薬剤選択の基本から、各種診断マーカーを用いた症例選択、治療が奏効しなかった場合の対応、局所療法との複合的な治療戦略、有害事象発生時の対処方法までを網羅し、解説。各施設のエキスパートが、判断に迷う課題を整理し、肝癌治療に携わる臨床医へ最新の知見を示した一冊。

輸液・電解質管理についてコンパクトにまとめました



ここからはじめる 輸液・電解質管理 「わかる」から「できる」ハステップアップ

著 辻本哲郎

A5 判・298 頁 2024.7.
ISBN978-4-524-21068-8
定価 **3,960 円** (本体 3,600 円＋税 10%)

苦手意識を持っている医師が多い、輸液・電解質管理についてわかりやすく解説した実践書。輸液・電解質管理に関する最低限知っておくべき内容を図表やイラストを用いてコンパクトにまとめ、実際の医療現場で目の前の患者の状態から、どのように検査・治療を組み立てればよいかわかり、実践できるようになる。これから輸液・電解質管理を学ぶ人にももちろんのこと、もう一度学び直したい人にもおすすめ。

緩和医療を臨床実践する際の指針となる一冊



専門家をめざす人のための 緩和医療学 改訂第 3 版

編 日本緩和医療学会

B5 判・448 頁 2024.6.
ISBN978-4-524-20667-4
定価 **6,930 円** (本体 6,300 円＋税 10%)

「日本緩和医療学会緩和医療専門医 研修カリキュラム」に準拠した内容で、専門家をめざす医師のみならず、緩和医療を専門的に学ぶ医療従事者が臨床実践する際の指針となる一冊。改訂第 2 版刊行から 5 年間の新薬の登場やガイドライン改訂の進歩・変化を受けて、最新の情報を盛り込んだ。また「骨転移」「AYA 世代のがん」「がんサバイバー」「自殺予防」の項目を新設し、昨今の本領域における動向を踏まえて内容を見直し、より実践に即した内容となっている。

皮膚疾患を診る機会があるすべての医師の道標



クイズでわかる 皮膚疾患トップ 20 To-do&NOT-to-do

編 古川福実／神人正寿

B5 判・228 頁 2024.6.
ISBN978-4-524-20685-8
定価 **6,930 円** (本体 6,300 円＋税 10%)

皮膚科診療患者が罹患している疾患は、遭遇頻度上位 20 疾患で 85% を占める。本書は、これら日常的に診る皮膚疾患に絞って、各疾患を「鑑別」「治療方法」の 2 本立てのクイズ形式で楽しく・わかりやすく解説。実践ですぐに活かせる、皮膚科診療で“やるべきこと”と“やってはいけないこと”のリスト付きで非皮膚科医・非専門医にもオススメ。皮膚疾患を診る機会があるすべての医師の道標となる一冊。